

広域振興局長

提出者 東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社
 住所 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通1番41号
 氏名 執行役員盛岡支社長 大森 健史

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	東日本旅客鉄道(株) 盛岡支社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市盛岡駅前通1番41号	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	k1	*施設番号	
自動車の使用台数	132 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		k0
		k0
		k0

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別紙を作成の上、添付してください。



別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (2024年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	83 (56)	55,161 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	126,326 kg-CO ₂	87%
軽油	48 (0)	47,407 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	124,181 kg-CO ₂	95%
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	1 (1)	348 kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	140 kg-CO ₂	134%
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	132 (57)			250,647 kg-CO ₂	91%

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

○低燃費車(ハイブリット車)の推進により、保有台数に対するハイブリット車(電気含む)の保有率は43.2%に向上。

※保有率 2023年度42.1%

CO2排出量 2023年度275,849(kg-CO₂) → 2024年度250,647(kg-CO₂)で約9%削減

【具体的な取組状況】

○エコドライブ

エコドライブを、社内周知(年2回)のうえ実施している。

○輸送の合理化

移動時には、乗り合わせにより自動車使用台数を削減している。

○電動車

電気自動車・ハイブリット車を可能な限りメインで使用し、燃料節約を図っている。

○自動車利用特性

公共交通機関・自転車・徒歩で移動を推進している。(近隣移動用に自転車の配備も行った)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

○職場の温度設定について

・執務室の冷房温度は28℃程度、暖房温度は19℃程度に設定。

・クールビズ、ウォームビズの実施。

○全職場でESG経営の実践として環境保護活動を実施

○駅、列車ゴミのリサイクル

・ゴミ分別強化によりリサイクル率アップを図る。

○事務用品

・プリントは両面コピーの初期設定により、コピー用紙の削減。

・タブレット端末等使用による用紙の削減。